



令和6年9月20日
総合政策局情報政策課
[訂正]令和7年5月23日

「国土交通月例経済（令和6年9月号）」

国土交通省では、「国土交通月例経済（令和6年9月号）」をとりまとめましたので、お知らせいたします。

また、概況は別紙のとおりです。数値につきましては、国土交通省のウェブサイト（国土交通月例経済）をご覧ください。

「国土交通月例経済」は、建設分野や交通分野の公的統計を始めとし、事業者や関係団体が公表しているデータにつきましても引用しつつ、主要な項目をまとめて毎月公表しているものです。

令和6年9月20日に公表した「国土交通月例経済（令和6年9月号）」のうち、令和6年2月の普通倉庫の入庫高と回転率の数値とグラフを訂正しましたので、お知らせいたします。

なお、本件につきまして、ご質問やご要望等ございましたら、以下の問い合わせ先までご連絡いただけますようお願いいたします。

[問い合わせ先]

総合政策局 情報政策課 大井、森谷

TEL : (03) 5253-8111 (内線 : 28401、28425)

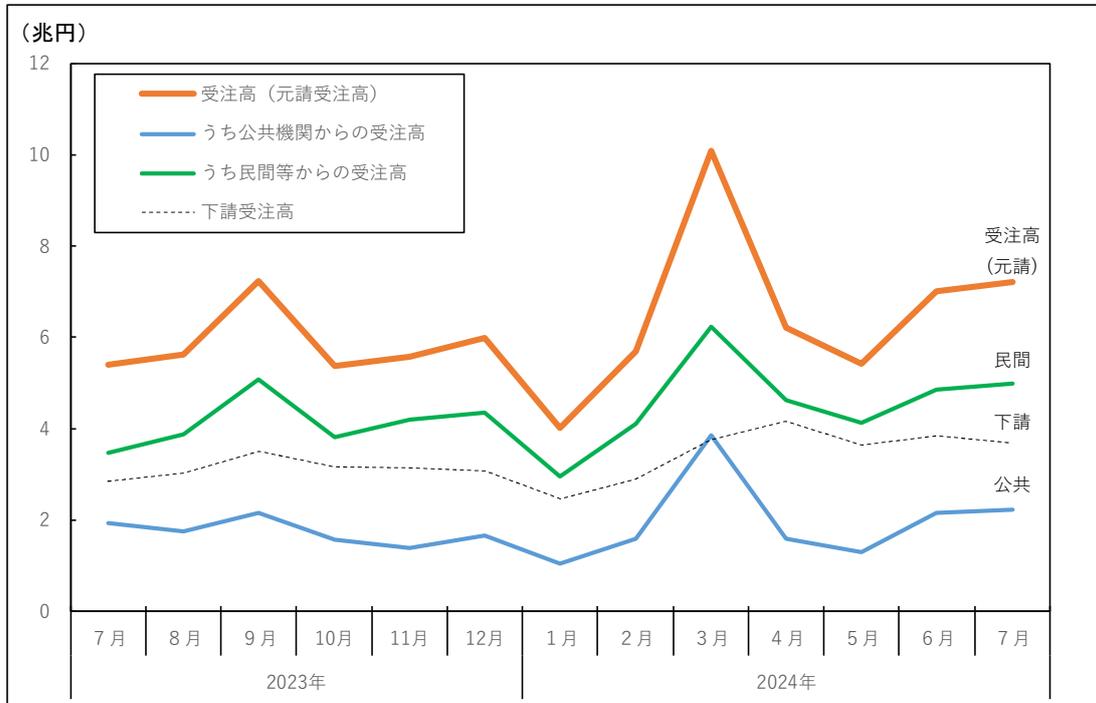
直通 : (03) 5253-8340

国土交通月例経済（令和6年9月号）概況

I 建設分野

1. 建設工事の受注高

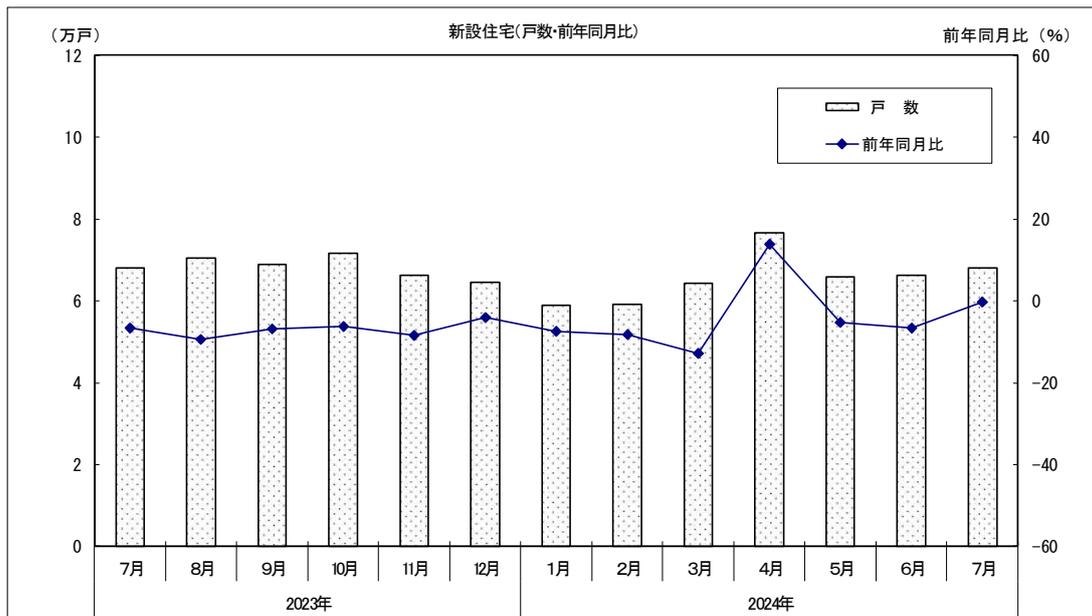
2024年7月の受注高（元請受注高）は7兆2,121億円（前年同月比33.4%増）となった。そのうち、公共機関からの受注高は2兆2,245億円（前年同月比15.3%増）、民間等からの受注高は4兆9,875億円（前年同月比43.5%増）であった。また、下請受注高は3兆6,799億円（前年同月比29.7%増）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建設工事受注動態統計 記者発表資料」

2. 住宅着工

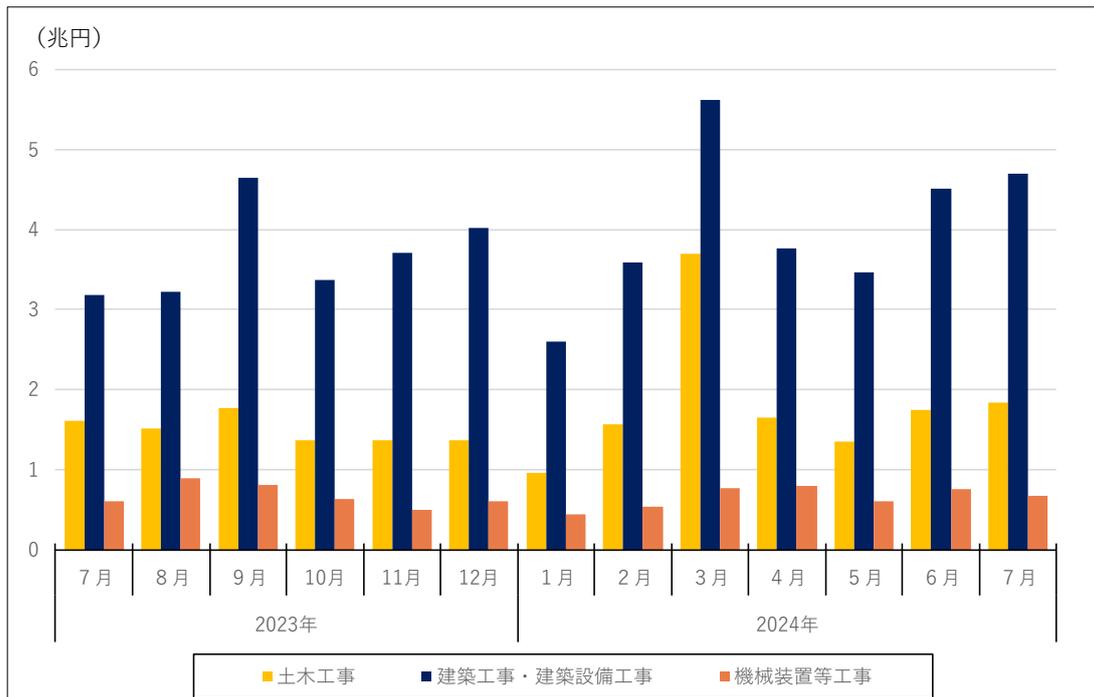
2024年7月の新設住宅着工は68,014戸（前年同月比0.2%減）となった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」

3. 建設工事の元請受注高（土木、建築、設備）

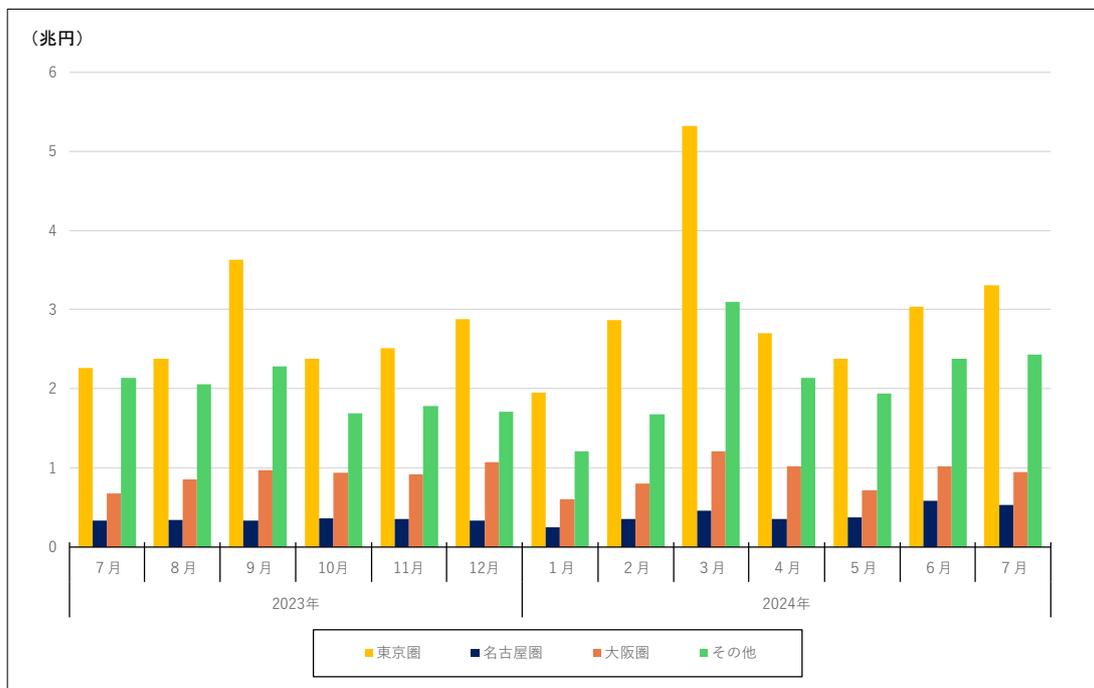
2024年7月の土木工事の元請受注高は、1兆8,429億円（前年同月比14.8%増）、建築工事・建築設備工事の元請受注高は、4兆6,995億円（前年同月比47.6%増）、機械装置等工事の元請受注高は、6,697億円（前年同月比9.0%増）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建設工事受注動態統計 記者発表資料」

4. 建設工事の元請受注高（三大圏（東京圏、名古屋圏、大阪圏）とその他）

2024年7月の東京圏の元請受注高は3兆3,062億円（前年同月比46.3%増）、名古屋圏の元請受注高は5,312億円（前年同月比59.6%増）、大阪圏の元請受注高は9,442億円（前年同月比39.2%増）、その他の元請受注高は2兆4,304億円（前年同月比13.9%増）であった。

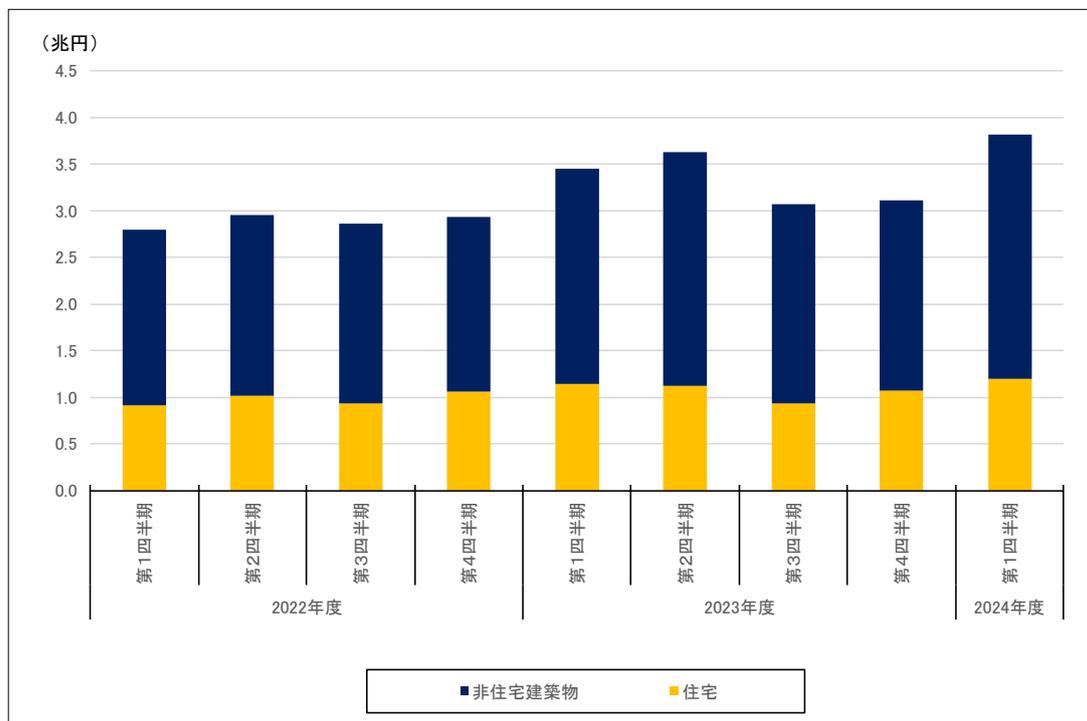


出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建設工事受注動態統計 記者発表資料」

東京圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県
 名古屋圏：愛知県、岐阜県、三重県
 大阪圏：大阪府、兵庫県、京都府、奈良県

5. 建築物リフォーム・リニューアル調査（四半期単位）

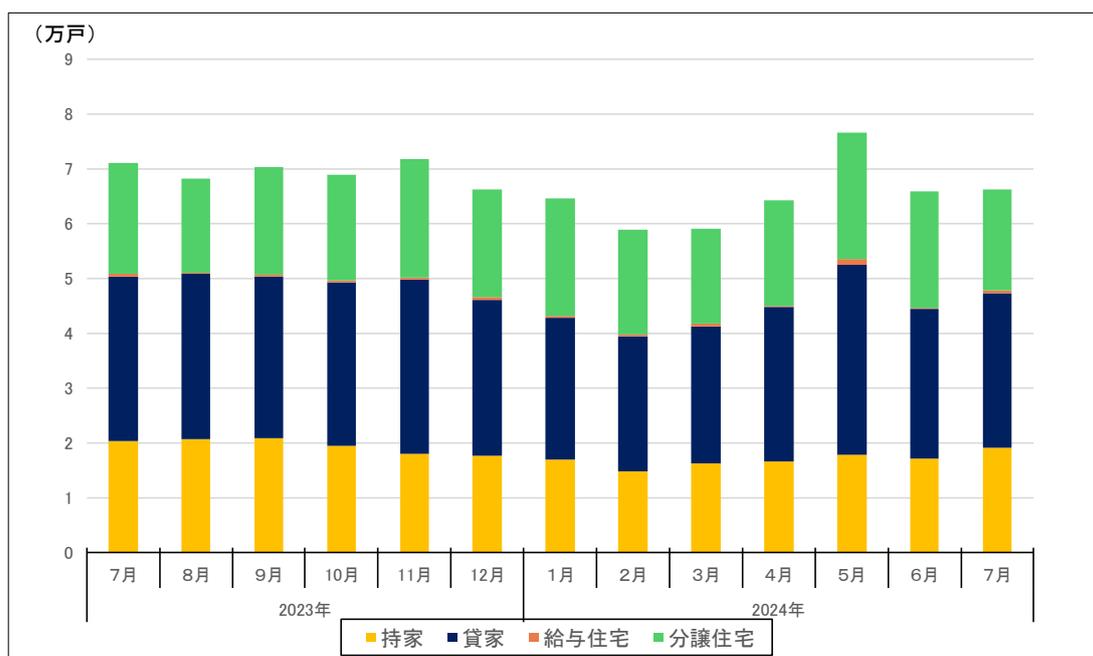
2024年度第1四半期の建築物リフォーム・リニューアル工事の受注高の合計は3兆8,180億円（前年同期比10.6%増）となった。そのうち、住宅は1兆1,966億円（同4.3%増）、非住宅建築物は2兆6,214億円（同13.8%増）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築物リフォーム・リニューアル調査 記者発表資料」

6. 住宅着工（持家、貸家、給与住宅、分譲住宅）

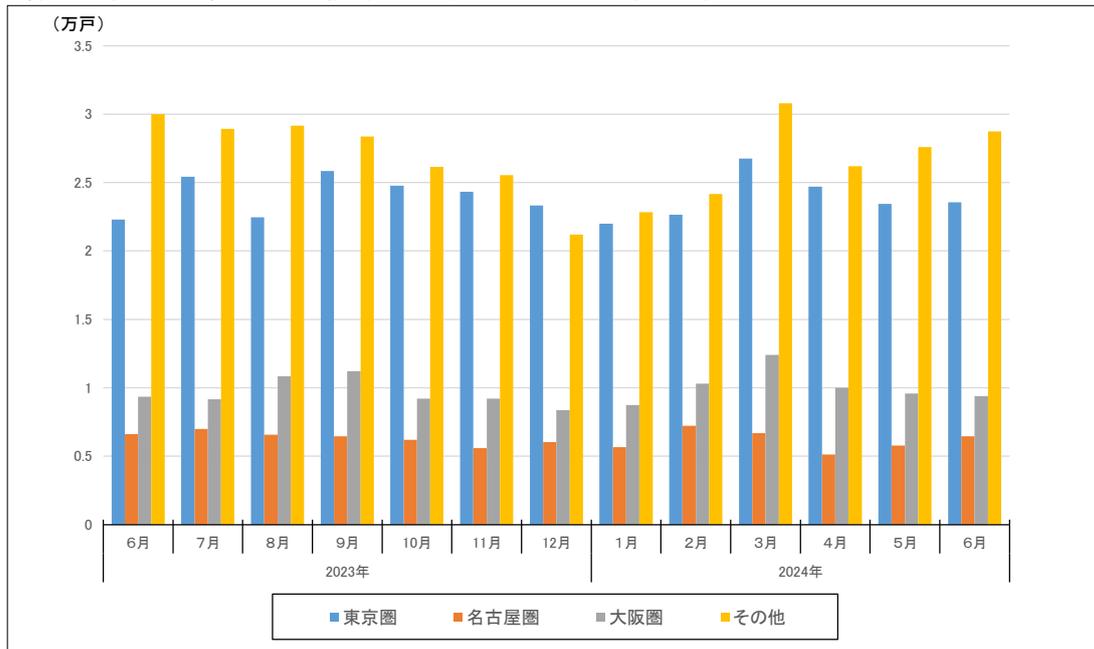
2024年7月の新設住宅着工は68,014戸（前年同月比0.2%減）となった。そのうち、持家は19,858戸（前年同月比4.0%減）、貸家は31,546戸（前年同月比4.6%増）、給与住宅は446戸（前年同月比42.5%増）、分譲住宅は16,164戸（前年同月比4.8%減）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」

7. 住宅着工（三大圏（東京圏、名古屋圏、大阪圏）とその他）

2024年7月の東京圏の新設住宅着工戸数は23,521戸（前年同月比5.6%増）、名古屋圏の新設住宅着工戸数は6,411戸（前年同月比2.6%減）、大阪圏の新設住宅着工戸数は9,365戸（前年同月比0.6%増）、その他の新設住宅着工戸数は、28,717戸（前年同月比4.2%減）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」

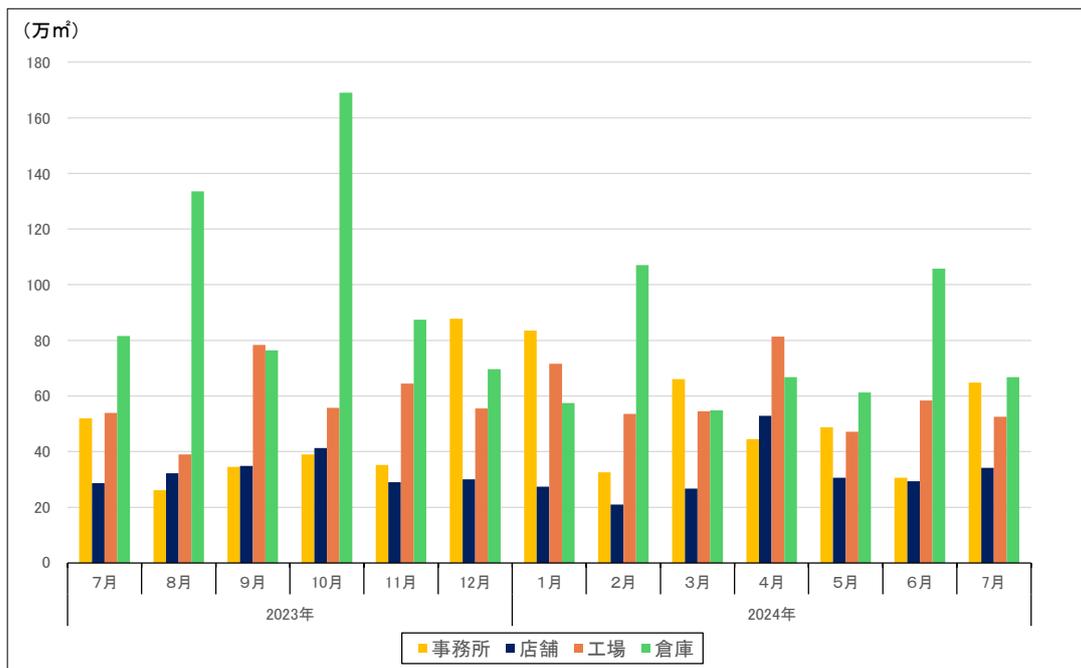
東京圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

名古屋圏：愛知県、岐阜県、三重県

大阪圏：大阪府、兵庫県、京都府、奈良県

8. 住宅着工（民間非居住建築物の床面積（事務所、店舗、工場、倉庫）

2024年7月の民間非居住建築物の床面積は287万㎡（前年同月比10.3%減）となった。そのうち、事務所の床面積は64万7千㎡（前年同月比25.0%増）、店舗の床面積は34万2千㎡（前年同月比19.2%増）、工場の床面積は52万4千㎡（前年同月比2.6%減）、倉庫の床面積は66万8千㎡（前年同月比18.2%減）であった。



出典：政府統計ポータルサイト e-Stat 国土交通省「建築着工統計 記者発表資料」

II 交通分野

1. 旅客輸送

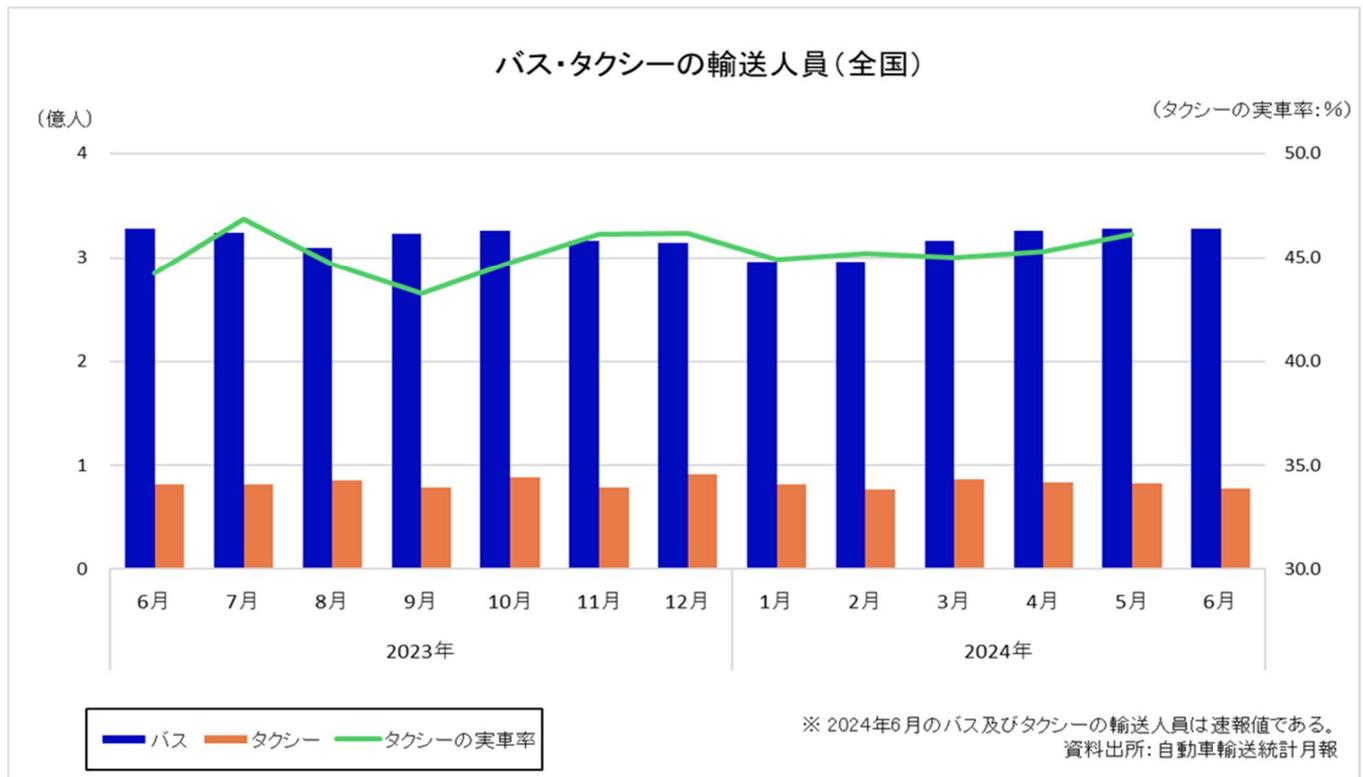
(1) バス・タクシー

2024年6月のバス^(注1)の輸送人員は、3億2,762万人（前年同月比0.0%増）となった。

2024年6月のタクシー^(注2)の輸送人員は、7,843万人（前年同月比4.6%減）となった。

(注1) 乗車定員11人以上の乗合バス。

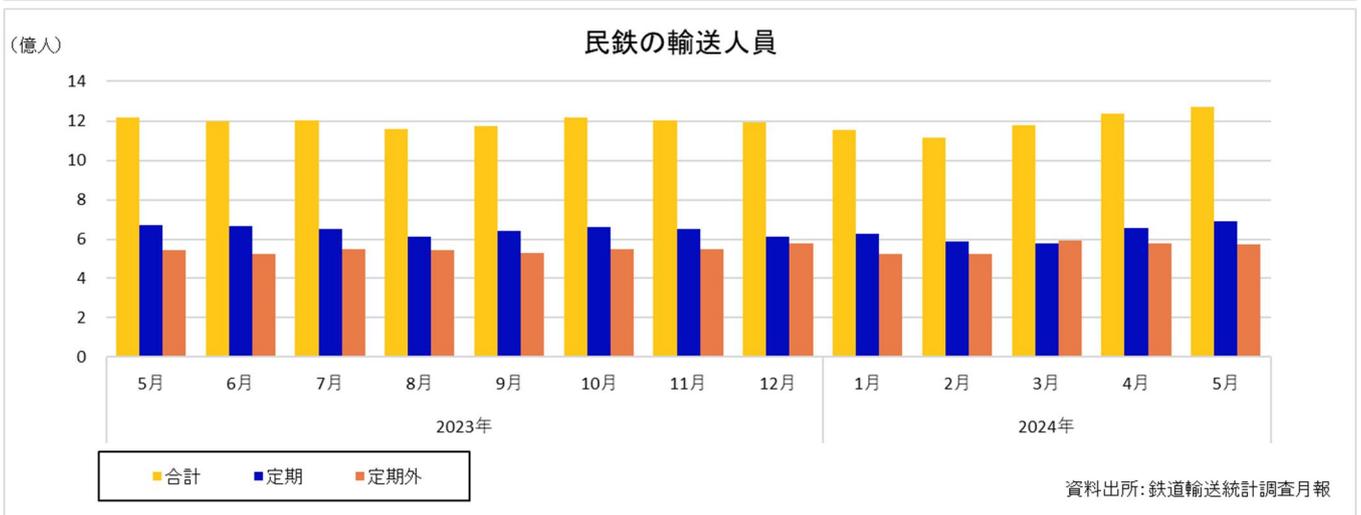
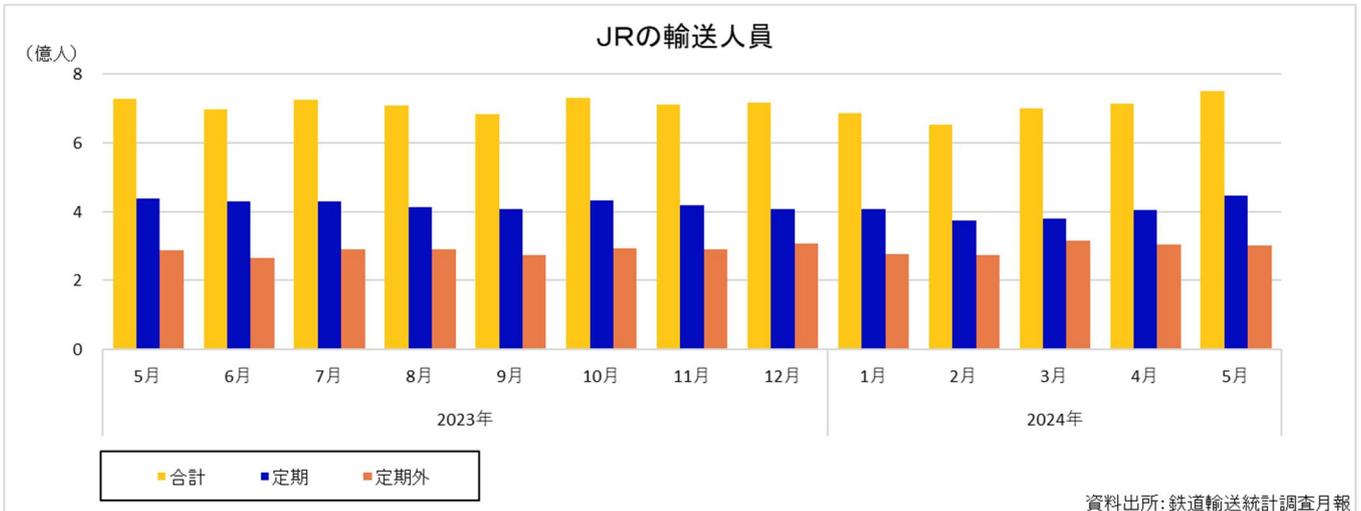
(注2) 乗車定員10人以下の営業用乗用車。



(2) 鉄道

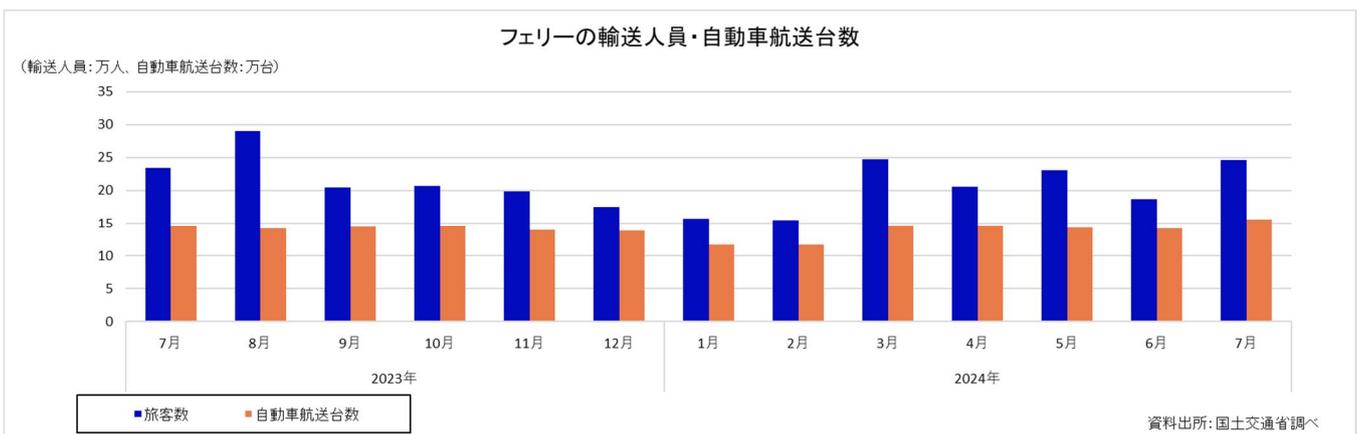
2024年5月のJRの輸送人員は、7億5,120万人（前年同月比3.0%増）となった。そのうち、定期は4億4,821万人（前年同月比1.9%増）、定期外は3億299万人（前年同月比4.8%増）であった。

2024年5月の民鉄の輸送人員は12億7,040万人（前年同月比4.5%増）となった。そのうち、定期は6億9,321万人（前年同月比3.4%増）、定期外は5億7,719万人（前年同月比5.9%増）であった。



(3) フェリー

2024年7月の長距離フェリーの輸送人員は25万人（前年同月比5.2%増）、自動車航送台数は16万台（前年同月比7.0%増）となった。

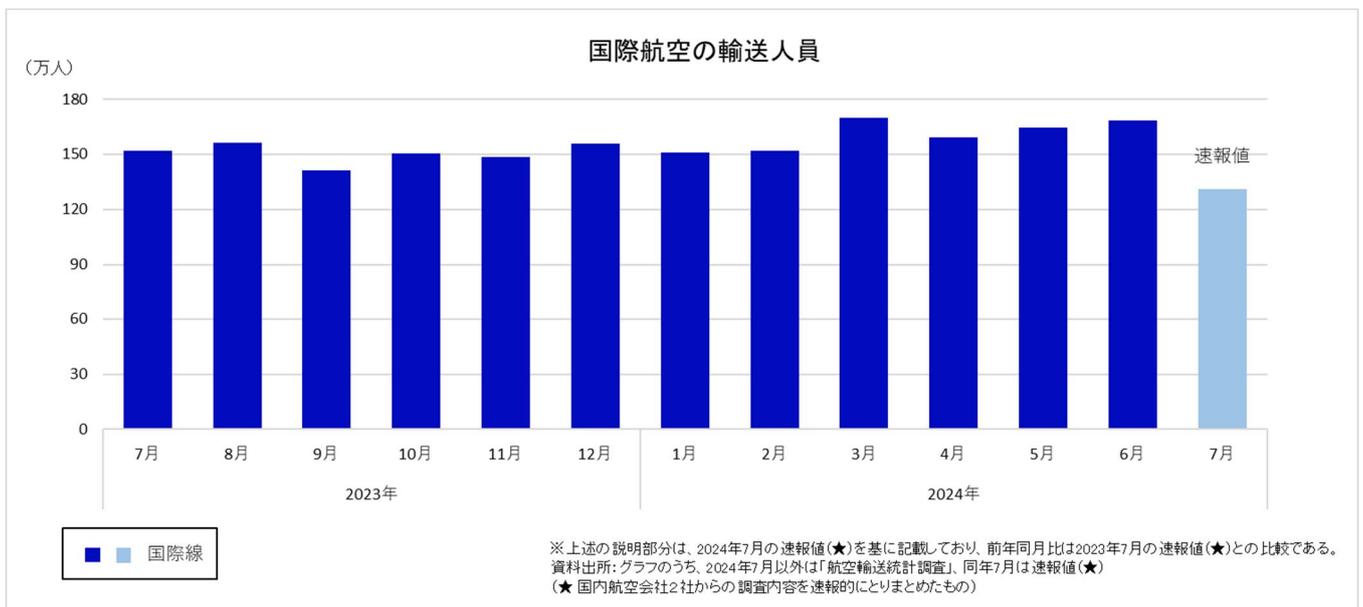
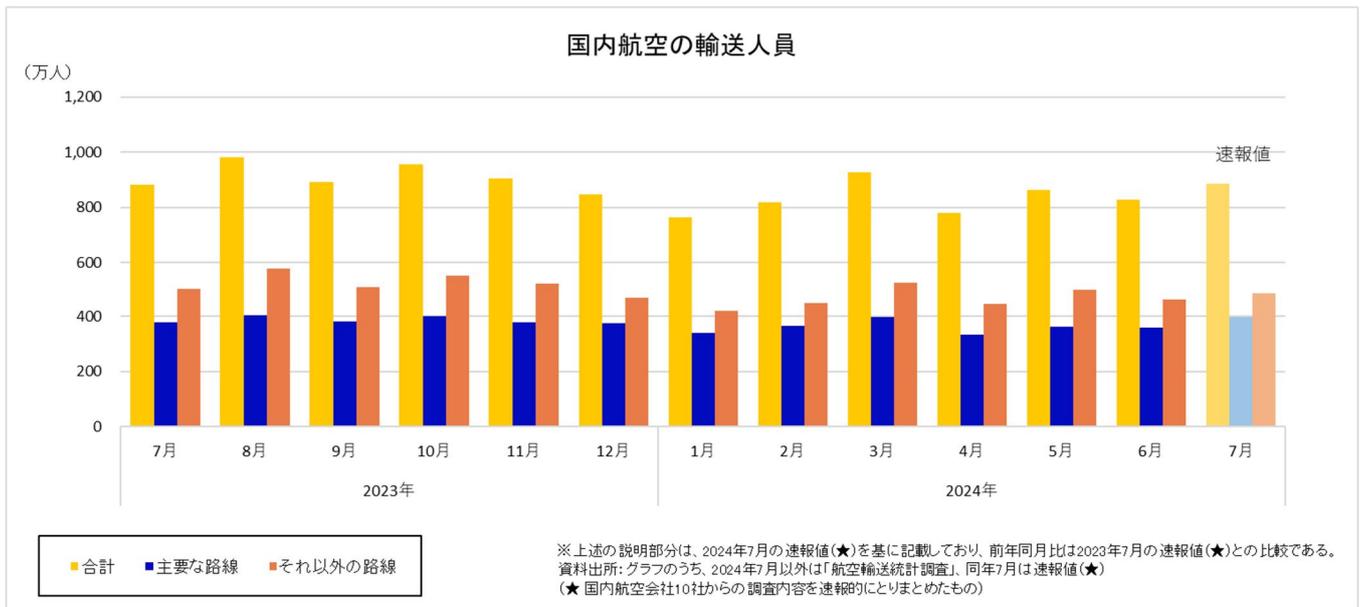


(4) 航空

2024年7月の国内線の輸送人員は、886万人（前年同月比4.6%増）となった。そのうち、主要な路線^(注3)における輸送人員は398万人（前年同月比5.4%増）、それ以外の路線における輸送人員は488万人（前年同月比4.0%増）であった。

2024年7月の国際線の輸送人員は、131万人（前年同月比8.1%増）となった。

(注3) 新千歳、東京（羽田）、東京（成田）、大阪（伊丹）、関西、福岡、沖縄（那覇）の7つの空港を相互に結ぶ路線である。



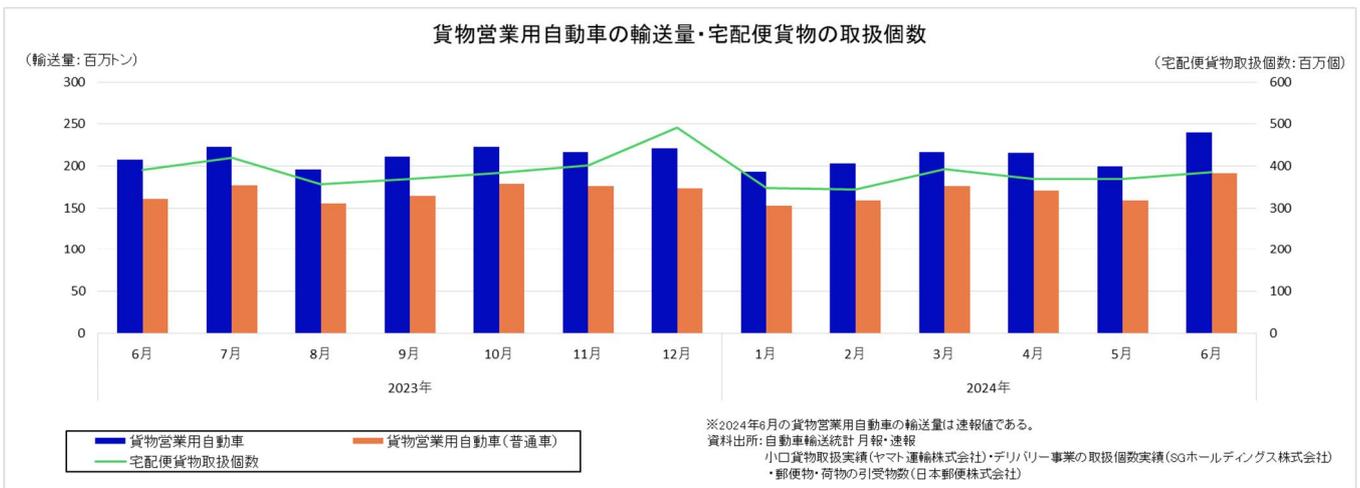
2. 貨物輸送

(1) 自動車

2024年6月の貨物営業用自動車の輸送量は、2億3,996万トン（前年同月比15.6%増）となった。そのうち、貨物営業用自動車（普通車）^(注4)は1億9,160万トン（前年同月比19.0%増）であった。

2024年6月の宅配便貨物の取扱事業者（大手3社）による宅配便貨物の取扱個数は、3億8,516万個（前年同月比1.3%減）となった。

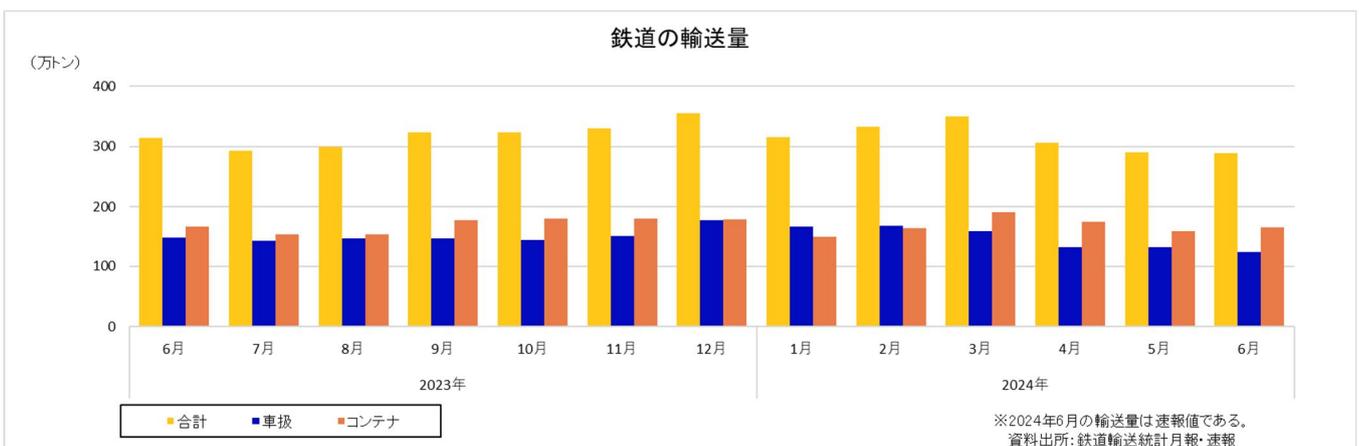
(注4) 普通自動車は、小型自動車、軽自動車、大型特殊自動車及び小型特殊自動車以外の自動車である（道路運送車両法施行規則別表第1）。5つの自動車の種別は、大きさ、構造、総排気量等の基準により分類され、総排気量の場合、小型自動車は660超2,000cc以下、軽自動車は660cc以下、普通自動車は2,000cc超の区分によっておおむね分類される。



(2) 鉄道

2024年6月の鉄道の輸送量は、289万トン（前年同月比8.1%減）となった。そのうち、車扱^(注5)は123万トン（前年同月比16.3%減）、コンテナは166万トン（前年同月比0.8%減）であった。

(注5) 車扱貨物（しゃあつかいかもつ）を略して記載しており、貨車を一両単位で借り切って輸送する貨物列車のことである。

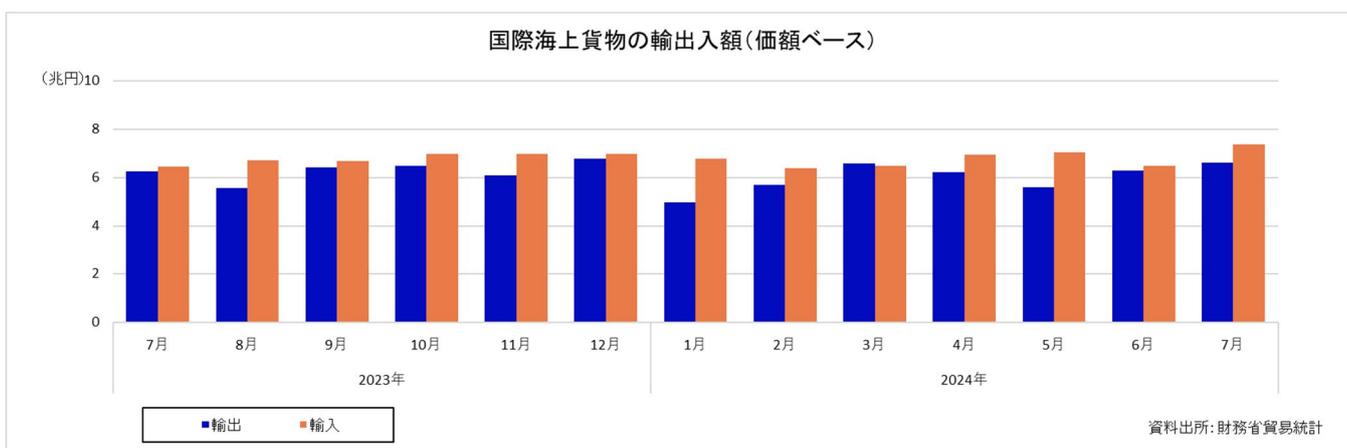
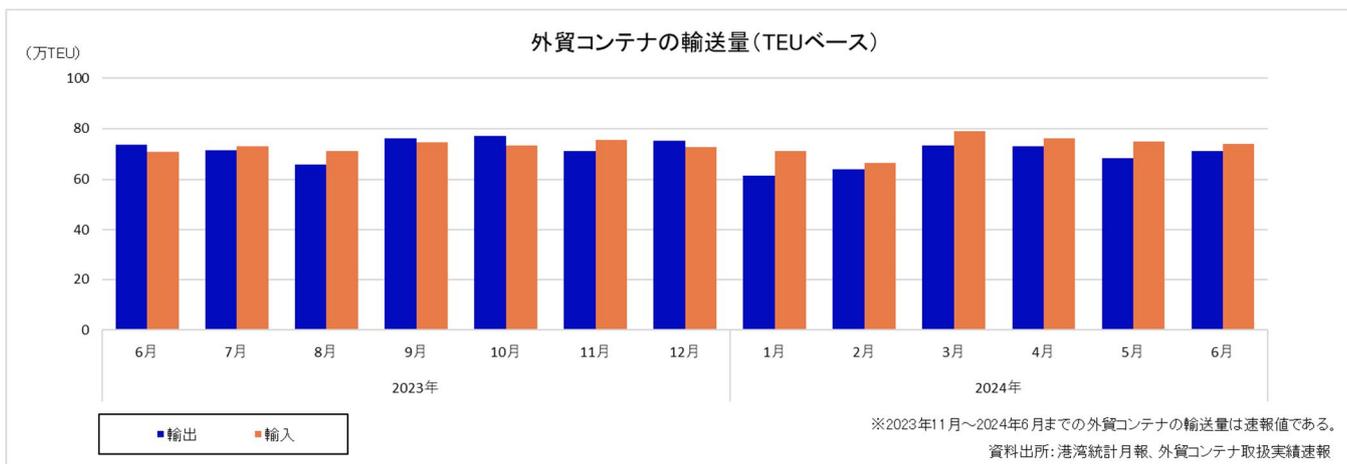
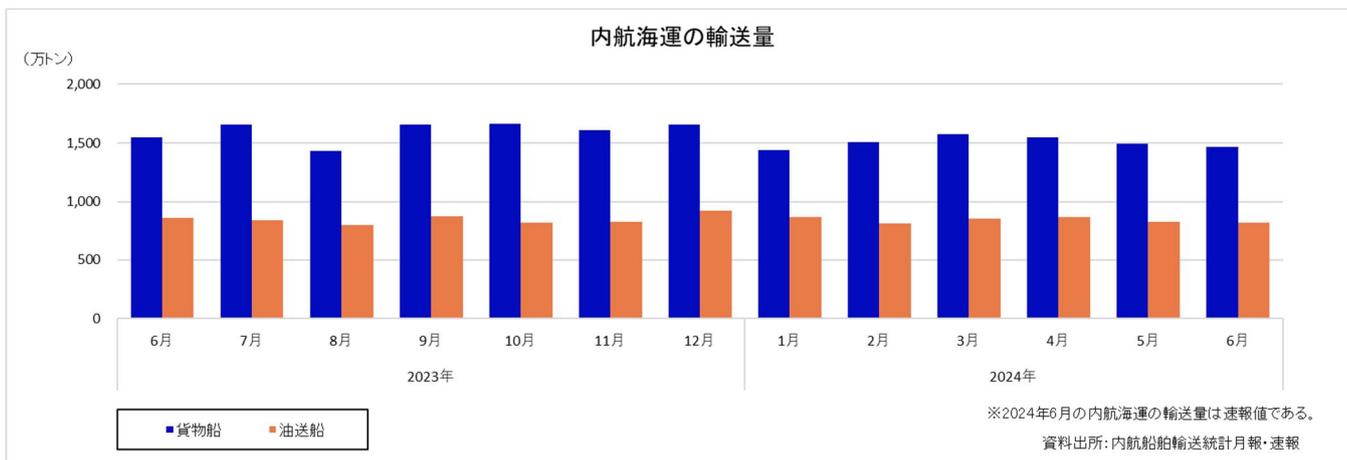


(3) 海運

2024年6月の内航海運の輸送量は、貨物船1,468万トン（前年同月比5.3%減）、油送船822万トン（前年同月比4.8%減）となった。

2024年6月の外航海運（外貿コンテナ）の輸送量は、輸出71万TEU（前年同月比1.7%減）、輸入74万TEU（前年同月比4.3%増）となった。

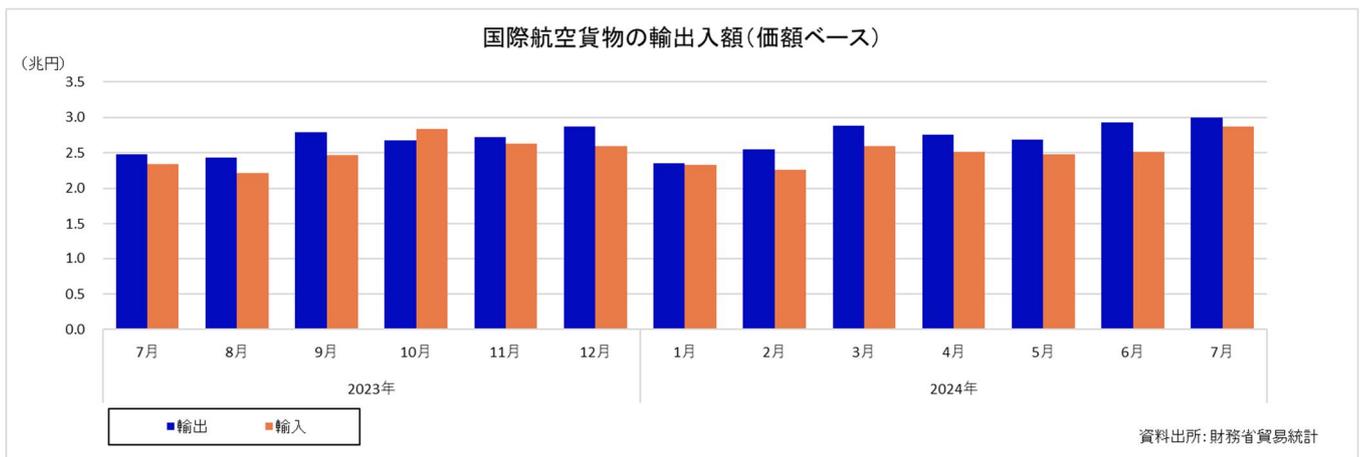
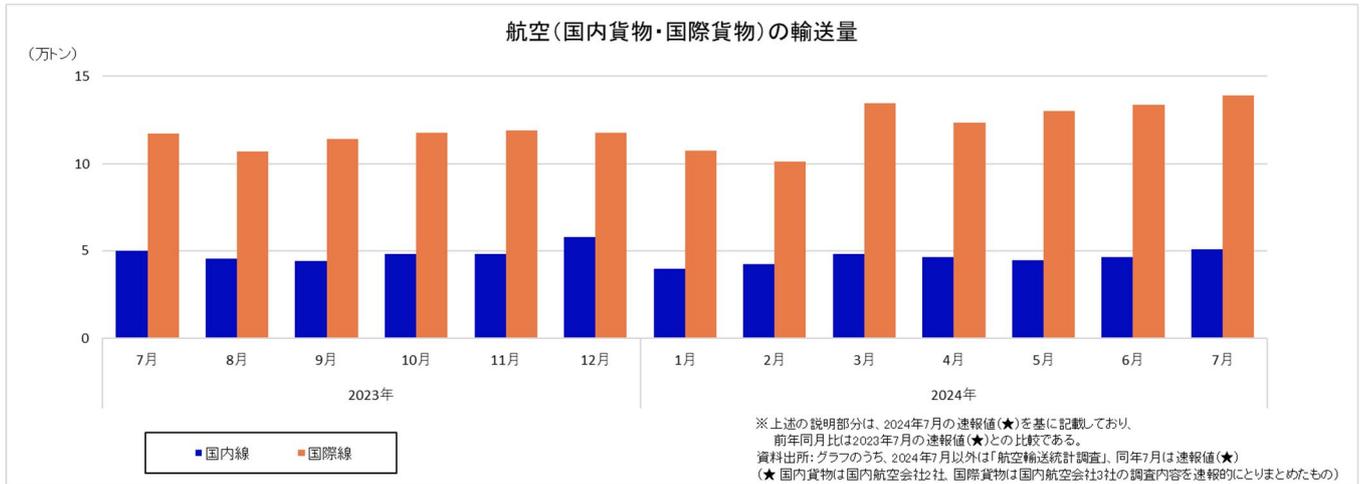
2024年7月の国際海上貨物（価額ベース）は、輸出6.6兆円（前年同月比5.8%増）、輸入7.4兆円（前年同月比14.4%増）となった。



(4) 航空

2024年7月の航空（国内貨物、国際貨物）の輸送量は、国内線5.1万トン（前年同月比8.6%増）、国際線14万トン（前年同月比8.6%増）となった。

2024年7月の国際航空貨物（価額ベース）は、輸出3兆円（前年同月比21.2%増）、輸入2.9兆円（前年同月比22.7%増）となった。

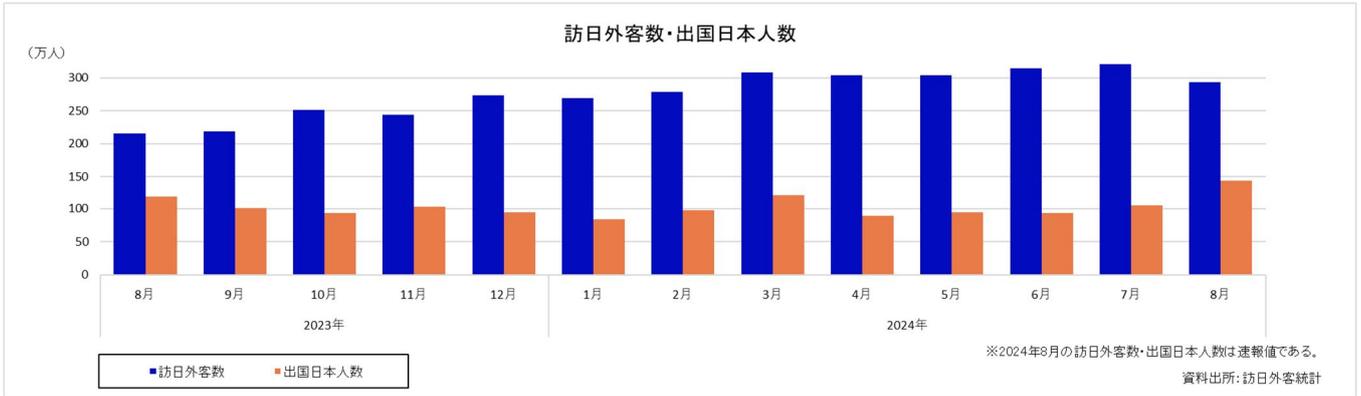


3. 観光分野

(1) 訪日外客数、出国日本人数

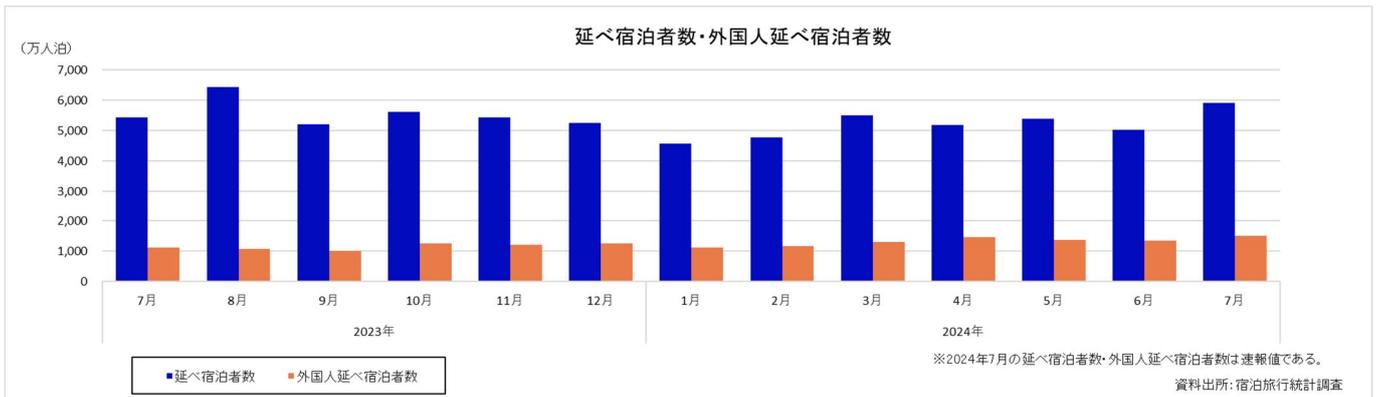
2024年8月の訪日外客数は、293万人（前年同月比36.0%増）となった。そのうち、韓国は61万人（前年同月比7.6%増）、中国は75万人（前年同月比104.8%増）、台湾は56万人（前年同月比42.4%増）、香港は25万人（前年同月比19.6%増）であった。

また、2024年8月の出国日本人数は、144万人（前年同月比19.7%増）となった（ただし、2019年同月比は31.9%減）



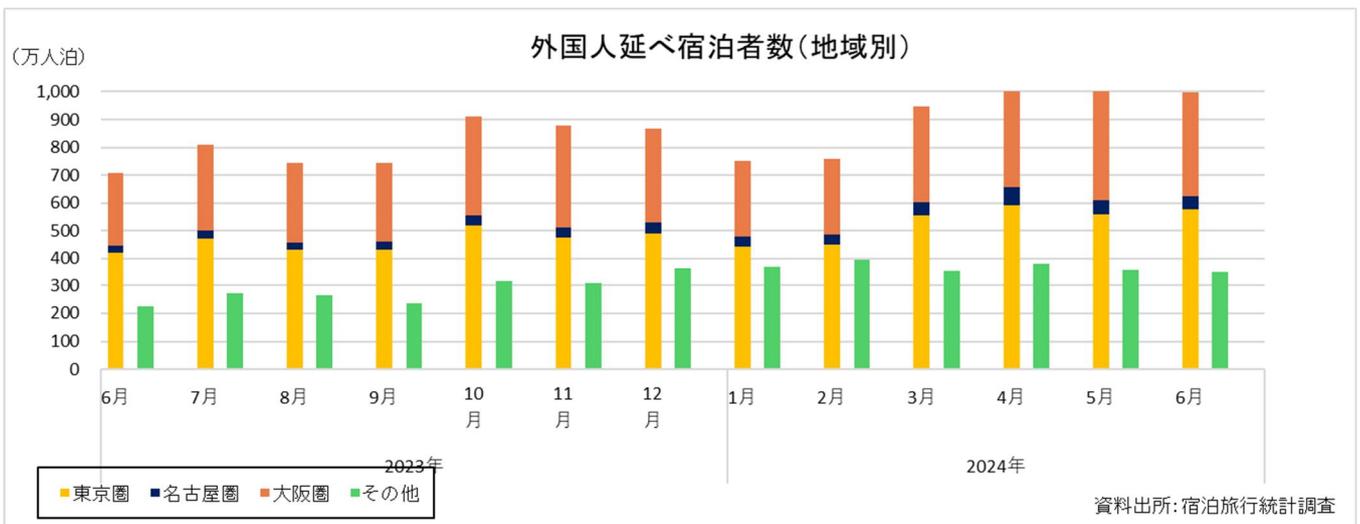
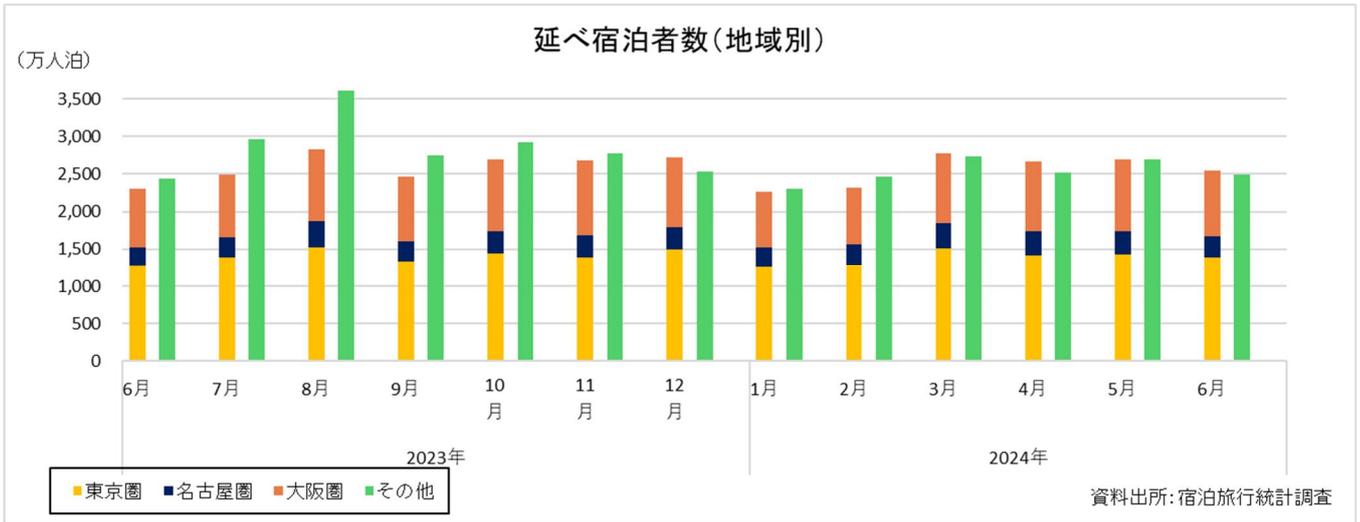
(2) 宿泊者数

2024年7月の延べ宿泊者数は、5,915万人泊（前年同月比8.6%増）となった。そのうち、外国人延べ宿泊者数は、1,494万人泊（前年同月比35.2%増）であり、その割合は25.3%であった。



2024年6月の延べ宿泊者数(5,915万人泊)のうち、東京圏は1,391万人泊(前年同月比9.0%増)、名古屋圏は284万人泊(前年同月比16.3%増)、大阪圏は870万人泊(前年同月比11.7%増)、その他は2,492万人泊(前年同月比2.2%増)であった。

2024年6月の外国人延べ宿泊者数(1,494万人泊)のうち、東京圏は578万人泊(前年同月比37.0%増)、名古屋圏は46万人泊(前年同月比84.2%増)、大阪圏は375万人泊(前年同月比43.3%増)、その他は347万人泊(前年同月比54.1%増)であった。



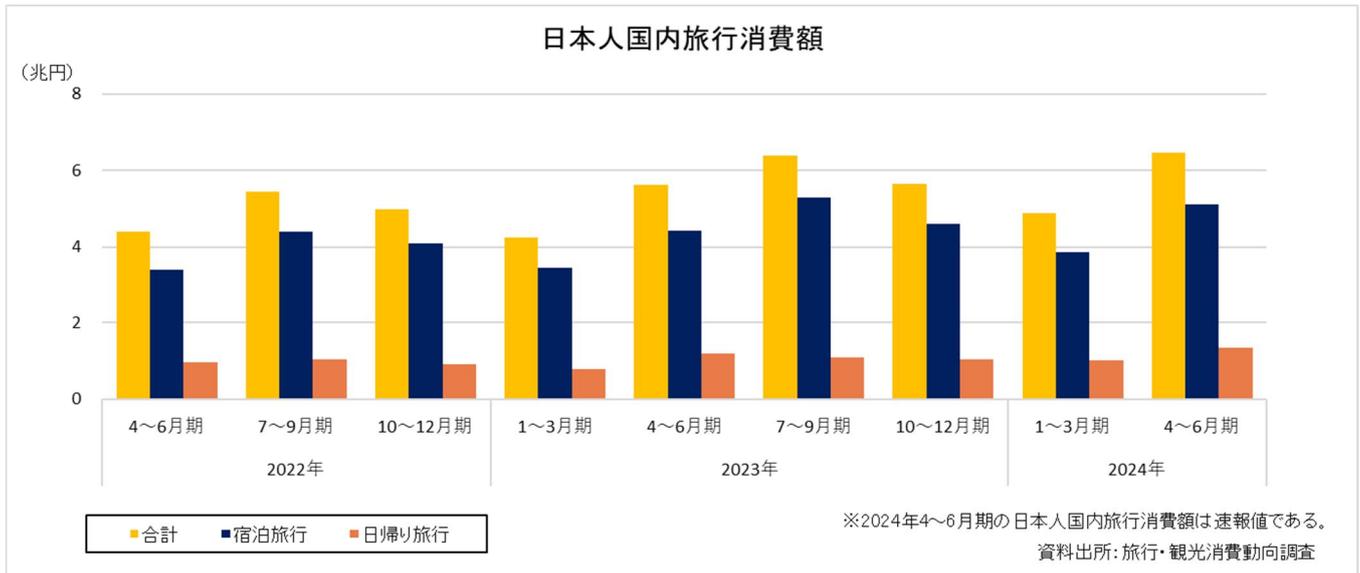
東京圏：東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県

名古屋圏：愛知県、岐阜県、三重県

大阪圏：大阪府、兵庫県、京都府、奈良県

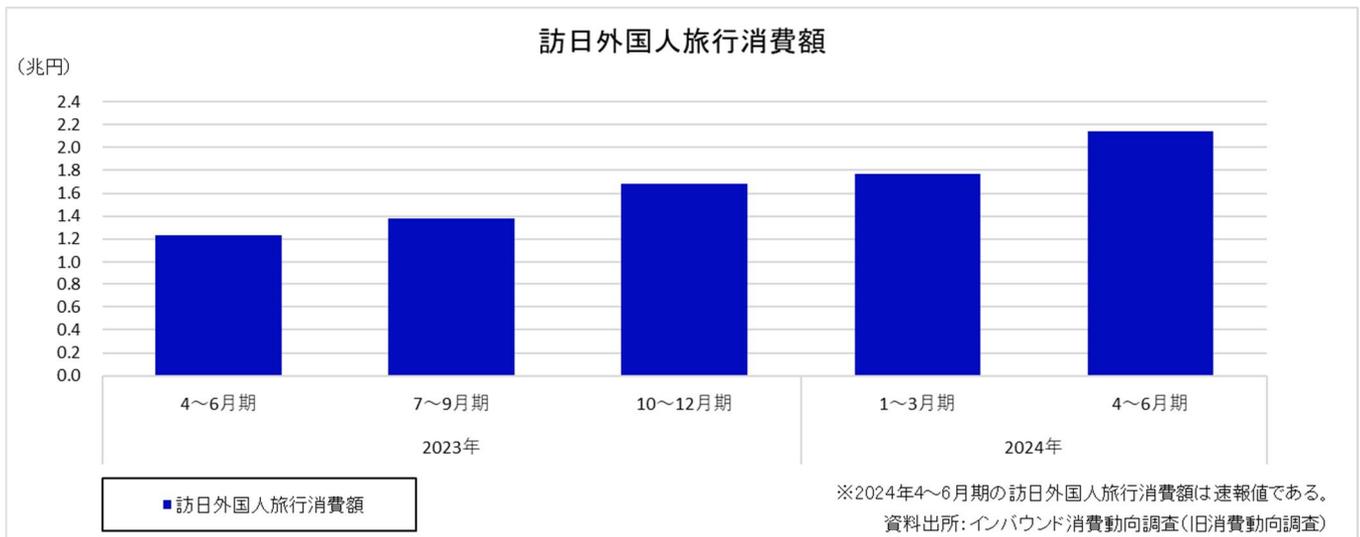
(3) 日本人国内旅行消費

2024年4月～6月期の日本人国内旅行消費額は、6兆4,518億円（前年同期比14.9%増）となった。そのうち、宿泊旅行は5兆1,137億円（前年同期比15.6%増）、日帰り旅行は1兆3,381億円（前年同期比12.6%増）であった。



(4) 訪日外国人旅行消費

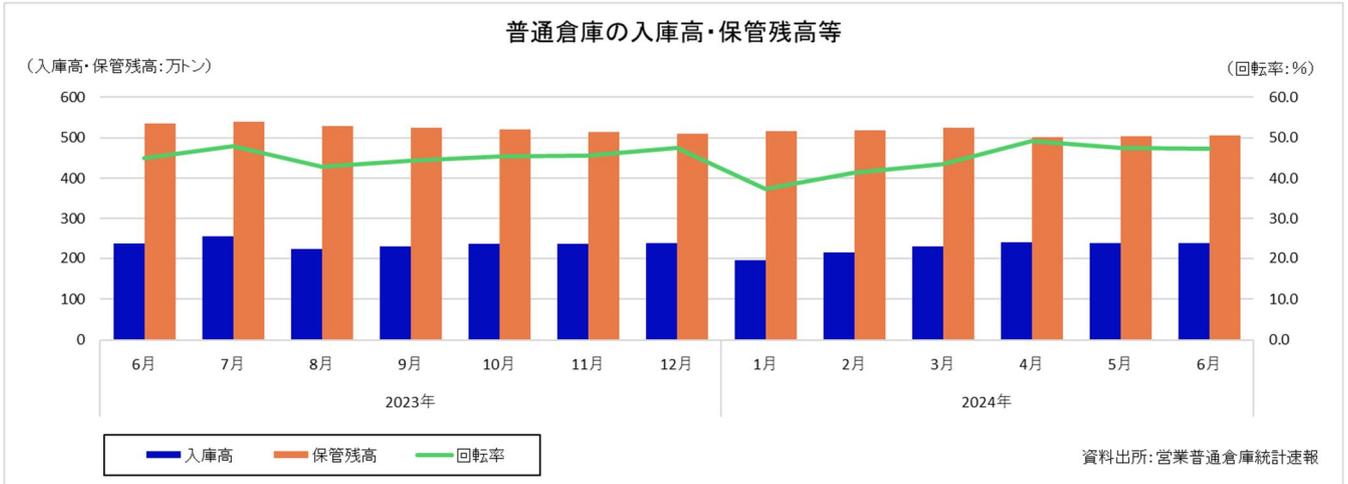
2024年4～6月期の訪日外国人旅行消費額は、2兆1,370億円（前年同期比73.5%増）となった。



4. その他

(1) 倉庫

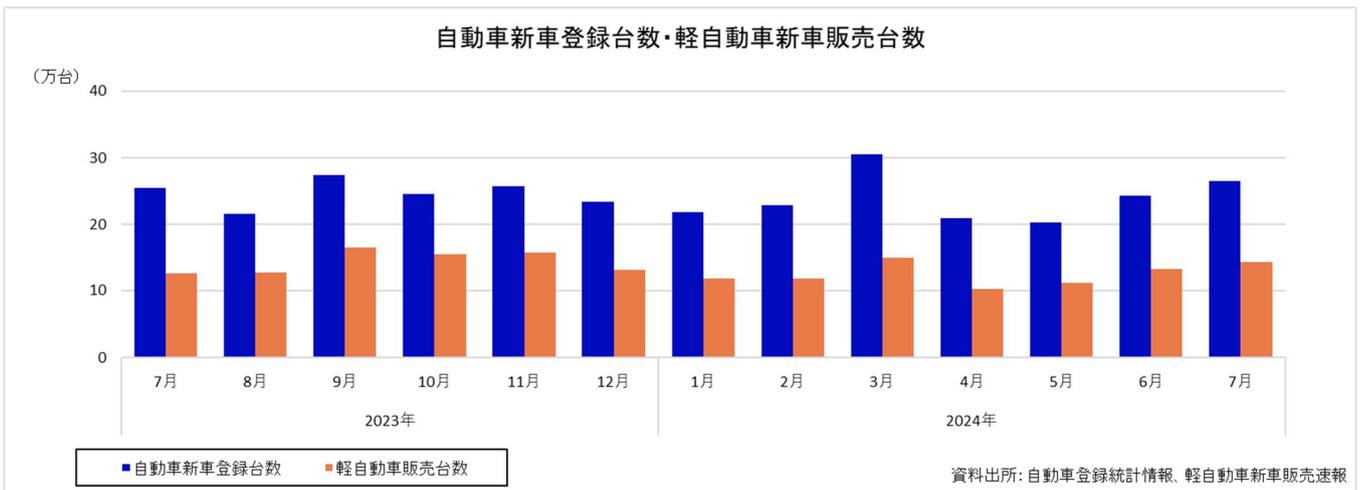
2024年6月の普通倉庫の入庫高は、240万トン（前年同月比1.1%増）、保管残高は506万トン（前年同月比5.5%減）、回転率47.3%となった。



(2) 自動車新車登録台数、軽自動車販売台数

2024年7月の自動車新車登録台数は、27万台（前年同月比3.9%増）となった。そのうち、旅客車登録台数は23万台（前年同月比3.8%増）、貨物車登録台数は3万台（前年同月比4.1%増）であった。

2024年7月の軽自動車販売台数は、14万台（前年同月比12.9%増）となった。

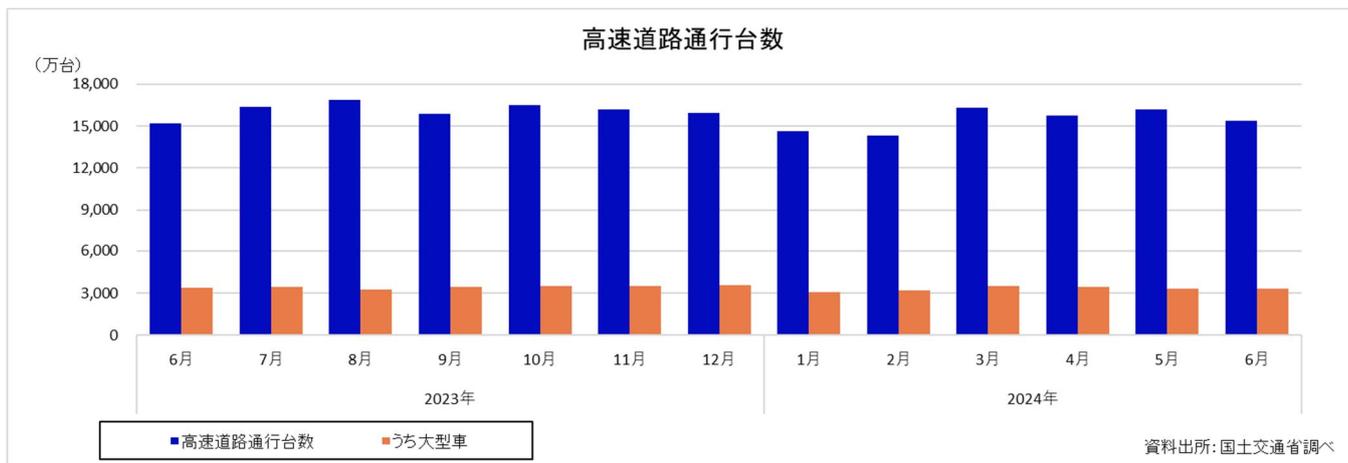


(3) 自動車保有車両数

2024年6月の自動車保有車両数は、8,280万台（前年同月比0.1%増）となった。

(4) 高速道路通行台数

2024年6月の高速道路通行台数は、15,393万台（前年同月比1.2%増）となった。そのうち、大型車通行台数は、3,329万台（前年同月比1.3%減）、東名高速道路通行台数は、1,264万台（前年同月比0.3%増）であった。



(5) 鉄道車両生産

2024年7月の鉄道車両（新造）の生産車両数及び生産金額は、それぞれ130両、170億円となった。



(6) 造船

2024年7月の造船（竣工）の隻数、トン数及び船価は、それぞれ27隻、743,785G/T、1,466億円となった。

※G/T…Gross Tonnage（総トン数）の略

